

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

福岡県北九州市

●地域における現状・課題

北九州市における学校部活動は、二極化の状態にある。都市部の学校では、生徒数が多く、満足のいく活動ができる一方、地方では、少子化の影響から数人で部を編成しなければならない学校や生徒の希望する部が編成できない学校がある。また、共通の課題として、専門的な知識をもった顧問の確保が難しく、生徒の要望に応えられない部が多数存在する。以上の状況から今後継続して安定的に部活動を運営していくことは困難であるとする。

●取組事項の概要

2つの型、3つのモデルを立上げ実証実践を行った。

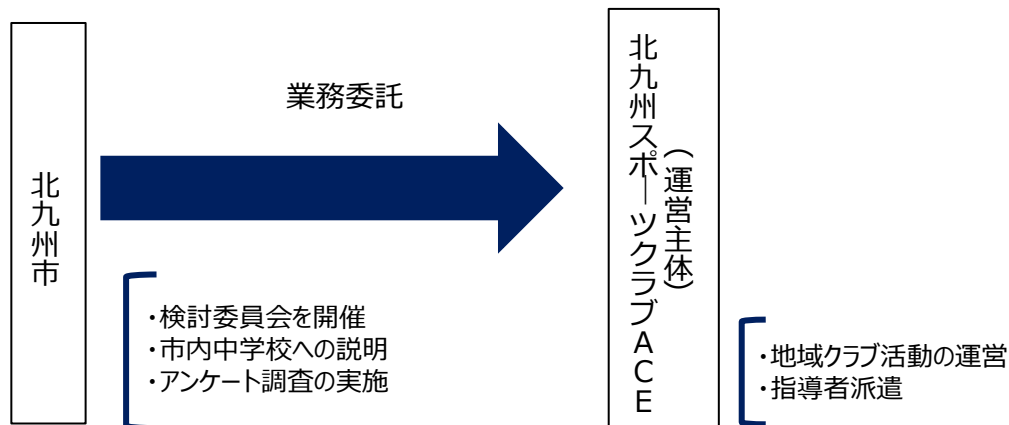
- ・ 休日の学校部活動を移行する「休日移行型モデル」2部活
- ・ 複数の学校の生徒を対象とした「地域クラブ型モデル」1部活

●取組の成果、特に工夫した点等

令和4年度の実証実践時に大きな課題となった「平日の学校部活動と休日の地域クラブの連携のあり方」について、以下の工夫を行った。

- ・ 学校部活動を担う顧問と地域クラブを担う指導員の連絡ツールとして、SNSアプリを導入した。
- ・ 生徒に関する情報や指導方法・指導内容を共有するため、定期的な協議会を開催した。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域クラブ活動
- (2) 運営主体：北九州スポーツクラブACE
- (3) 種目：バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：総合型地域スポーツクラブ
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：5回程度
- (6) 主な活動場所：北九州市立中学校体育館
- (7) 主な移動手段：公共交通機関、保護者送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：実証実践のため徴収していない
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1850円